

3 回生編入学・転入学

国際経営学部 (APM)

(1) 卒業要件について

APM に 3 回生編入学・転入学した場合、以下の卒業要件を満たす必要があります。

- ・ 編入学・転入学時に認定された科目を含め、卒業までに合計 124 単位以上を修得していること
- ・ 各科目分野の必要単位数を修得していること
- ・ 必要な APM 必修科目を全て修得していること

(2) 科目の種類と開講形態について

APU の授業にはクォーター科目とセメスター科目があり、その多くは 2 単位科目です。クォーター科目は 2 ヶ月で完結し、セメスター科目は 4 ヶ月で完結します。クォーター開講の講義科目・演習科目は週に 2 回授業が行われ、セメスター開講の講義科目・演習科目は週に 1 回授業が行われます。言語科目については講義科目・演習科目の授業回数の 2 倍となります。

(3) 履修登録の上限数について

APU での科目履修にあたっては、セメスターごとに履修登録が可能な単位数の上限が定められているため、2 年間で卒業に必要な学修をどのように進めるかを慎重に検討・計画する必要があります。セメスターごとに定められた履修登録が可能な単位数は以下の通りです。

5 セメスター	6 セメスター	7 セメスター	8 セメスター
20 単位	20 単位	24 単位	24 単位

(4) 授業以外の活動に要する時間について

APU での学修を計画する際には日本での就職活動やアルバイト・サークル活動など、学修以外で行う可能性のある活動に要する時間等も考慮しておく必要があります。特に就職活動を行う場合には、第 6～8 セメスター期間中は就職活動に一定の時間を割く必要があります。

(5) 言語教育科目について

3 回生編入学・転入学学生は必修言語科目(英語基準学生の場合は日本語、日本語基準学生の場合は英語)が認定されているため、入学後に必修言語科目を履修する必要はありませんが、必修言語科目を履修することも可能です。しかしながら、言語教育科目は通常の講義科目と比較して 1 単位に必要な学修時間が 2 倍となります。専門教育科目の単位認定状況にもよりますが、専門教育科目の認定単位数が少ない状況で必修の言語教育科目の履修を希望する場合は、2 年間での卒業が厳しくなる場合があります。専門教育科目の単位認定結果に関わらず、必修言語科目の履修を希望する場合は 3 回生編入学・転入学でなく、2 回生編入学・転入学として志願することも検討してください。

(6) APM 必修科目の履修について

APM に編入学・転入学する学生は卒業までに必修となっている 11 科目 (22 単位) を修得する必要があります。このうち、10 科目については入学後の各セメスターに大学側から自動的に登録されますので、上記の履修登録単位上限数も踏まえた上で、入学後の履修計画を立てることが必要です。

各セメスターに登録される必修科目は以下の通りです。

5セメスター	6セメスター	7セメスター
経営学入門 経済学入門 会計学 I マーケティング入門	金融論 ビジネスエシックス 人材と組織行動のマネジメント 生産管理論 ビジネス法務戦略	グローバルマネジメント

なお、APM の必修科目を AACSB・EQUIS・EPAS・AMBA 認証校で履修・修得している場合は、当該科目が科目名認定され、APU 入学後に修得する必要はなくなります。

(7) 単位認定について

- ・ 3 回生編入学・転入学の単位認定は 62 単位を上限として専門教育科目分野もしくは共通教育科目分野としての単位認定見込み審査を行います。専門教育科目分野については提出されたシラバス等に基づき、専門教育科目としての認定単位の見込み審査を行います。本学の専門教育科目分野に相当しない場合は共通教育科目として認定します。
- ・ 必修言語科目については一括で認定を行います (英語基準の場合：16 単位、日本語基準の場合：24 単位)

<英語基準の単位認定>

科目分野		認定単位数	計
共通教育科目	必修言語科目(日本語)	16	62
	言語教育科目および共通教養科目	46*	
専門教育科目	専門教育科目		

<日本語基準の単位認定>

科目分野		認定単位数	計
共通教育科目	必修言語科目(英語)	24	62
	言語教育科目および共通教養科目	38*	
専門教育科目	専門教育科目		

* 志願者の学修内容に応じて単位認定

- ・ 経営・経済分野の科目を履修した場合には専門教育科目分野としての認定が可能な場合があります。専門教育科目分野として認定を希望する科目については「専門科目単位認定申請書」に記入の上、該当する科目のシラバスなど前籍機関における学修内容の分かるもの (日本語もしくは英語) を提出してください。

- AACSB・EQUIS・AMBA・EPAS 認証校において経営・経済分野の単位を修得している場合は、APM で開講している専門教育科目・共通教養科目での単位認定が可能な場合があります。上記認証校の経営・経済分野の学部にて学修している場合は成績証明書とともに認証校であることを証明する書類を提出してください。
- APU で開講している科目の一覧は別添の資料を参照してください。これらの科目のシラバスは以下のサイトより確認できます。APU で開講している科目以外でも専門教育科目分野として認定することがありますので、APU で開講されている科目と内容が一致しない場合でも APM の専門教育科目として認定される可能性があると考える場合は「専門科目単位認定申請書」を記入の上、該当する科目のシラバス（日本語もしくは英語）を提出してください。
- APU 科目のシラバス：<https://www.apu.ac.jp/home/study/content9/>
- APM カリキュラム表：
https://www.apu.ac.jp/academic/page/content0291/APM_AY2017_Curriculum_Outline_J_2021.pdf

以上